

岐阜歯科技工士会 生涯研修 教養課程

## タイトル「歯科技工の進化を考える」

有限会社 デンタルクリエーションアート  
西村好美

### 抄録

近年、社会において我々歯科医療業界または歯科技工業界にもマテリアル（材料）も含めた大きな変換期を迎えています。

しかし、いつの時代、どの業界においても不動のものと進化（環境へ適応）するものがあります。そこで、今回は私の歯科技工歴約40年の経験を通して得た歯科医療現場で求められる歯科技工業などを含め多角的な方向より歯科技工を捉え、過去・現在・そしてこれからの将来も進化するであろう歯科技工の方向性について、私の考えをお話させていただきたいと思います。

「 補綴治療を成功させるための形態学 」

有限会社 デンタルクリエーションアート  
西村好美

近年、医療界や一般社会において、歯周病と全身の健康についての関連性に関心が集まっている。歯科界においても、歯周治療を行い、歯周病の感染と炎症のコントロールが行われることにより患者の口腔内から、全身の健康に与える影響について示唆されている。

歯科技工士として歯科医療現場で補綴治療を成功し、患者の口腔内の健康を回復するにはガイドラインが必要になる。それには、審美性・機能性・生物学的恒常性・構造力学がある。

そして、それらを考慮し補綴装置を製作するためには「自然美・機能美・造形美・芸術美」という美の能力が重要であると考ええる。美と健康は密接に繋がっており、歯科技工士が「真の美とはなにか」を追求し、個々の症例に向き合うことで、更に患者の笑顔と健康へ繋がる。

今回は「補綴治療を成功させるための形態学」という視点から、最善の口腔を創造するための要素と永続性を兼ね備えた補綴装置の考え方について述べたい。